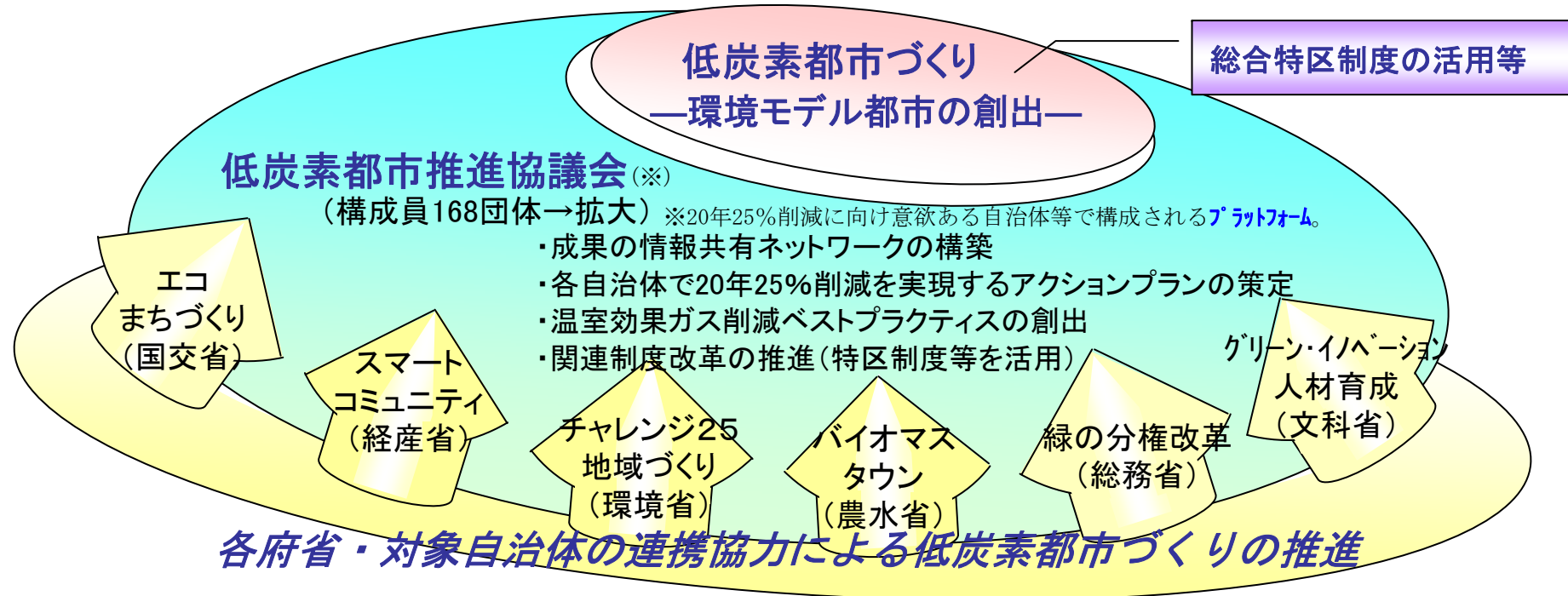


# 低炭素都市づくりへの集中投資によるグリーン・イノベーション創出 ～低炭素都市推進協議会の活用～

意欲ある自治体等により設立された「低炭素都市推進協議会」を、各府省事業の成果の情報共有等を行うプラットフォーム化し、スマートコミュニティを始めとする低炭素都市づくり関連施策の集中投資による効果の最大化等を図ることにより、20年25%削減の実現に資する先進的な環境モデル都市の創出等を始めとしたグリーン・イノベーションを創出。



各府省:各府省連携により事業の効果的な実施を推進(例:次世代エネルギー・社会システム事業の実証4地域のうち3つを環境モデル都市(横浜市、豊田市、北九州市)において実施(他の1地域は、けいはんな学研都市))

協議会:協議会において各府省事業実施の成果発表等を通じ情報共有を図るとともに、関係府省・機関とも協力し、低炭素都市づくりを推進する。

※ なお、現在選定している13環境モデル都市についても、取組の進捗状況を踏まえ、評価・必要な見直しを行う。

【見込まれる効果】 2020年時点での経済波及効果:約3兆円 (今後10年間の費用:約2兆円)  
新規雇用:約30万人

※ 13環境モデル都市での実施予定事業による効果をもとに推計